

# 学校保健 実技研修会 終了報告

テーマ	子どもの未来を拓く保健室の整理収納～実践編～	
日時	令和 5年 8月 24日(木)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	今野 洋子 氏 (北翔大学 教育文化学部 教育学科 教授)	
参加者	55 名	
研修会 の 様子		<p>整理・整頓・収納について、まず整理とは、「そのものが必要かどうか」について持ち方から数まで見極めること、整頓とは、ものを秩序に従って並べていくこと、収納とは、必要なものを使うときに使いやすく、使うときのことを考えて「収める」が簡単にできるシステムのことであることを学びました。</p>
		<p>保健室の整理・収納においては、美しく収納することが目的ではなく、ものを整理し、誰でも活用しやすくすることが最も重要であることを学びました。</p>
		<p>書類整理の基本は「全捨て」で、どう収納するかではなく、何を残すかが重要である、また、残す書類はファイリングして活用する必要があることを学びました。学校保健関係では、児童生徒の健康診断票などの公簿は保存の義務があるため、安全に配慮し耐火金庫などで保存することが望ましいということを確認しました。</p>
		<p>研修の最後にリフレクションということで、本研修会の内容をふり返し、小グループで問題の回答を話し合い、発表しました。</p>